

2018年6月4日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 石田 健一

パラグアイ国ヤシレタダム湖隣接地域総合開発プロジェクト
(開発調査型技術協力)
M/P ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年5月18日（金）14:32～17:39
- ・場所：JICA 本部（1階 111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、作本委員、升本委員、米田委員
- ・議題：パラグアイ国ヤシレタダム湖隣接地域総合開発プロジェクト（技術プロジェクト開発調査に係る DFR 案についての助言案作成
- ・配布資料：「パラグアイ国ヤシレタダム湖隣接地域総合開発調査マスタープラン案（前半）」、「パラグアイ国ヤシレタダム湖隣接地域総合開発調査マスタープラン案（後半）」、協力準備調査 SC 案への助言対応表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第91回委員会）

- ・日時：2018年6月4日（月）14:30～16:12
- ・場所：JICA 本部（1階 113会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. 本事業における低平地の大規模農家の支援の必要性及び稲作の支援の妥当性について、FRにより明確に記載すること。
2. M/P 段階の代替案の比較は、SEA の考え方を踏まえ経済・社会・環境的側面を統合して行うこと。

環境配慮

3. 灌漑地帯の下流になる保護区について、肥料・農薬等の影響を F/S で検討すること。

社会配慮

4. 水利組合設立とその運営にかかる課題を過去の実施例から拾い上げて、水利組合が適切に運営される方策について F/S で検討すること。
5. 適切な地下水管理実施の必要性を M/P に記載すること。
6. 水利用料金の設定に関して、受益者の負担能力に配慮した適切な価格設定を行うことを F/S に記載すること。

以 上